



平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成29年11月13日

上場会社名 チタン工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 4098 URL <http://www.titankogyo.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 渡邊 一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理本部長 (氏名) 中村 茂

TEL 0836-31-4155

四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	3,090	7.0	44		62		72	
29年3月期第2四半期	2,887	9.3	40		53		60	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	23.94	
29年3月期第2四半期	20.16	

*平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式10株を1株とする株式併合を実施したため、前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	11,304	5,591	49.5
29年3月期	11,138	5,669	50.9

(参考)自己資本 30年3月期第2四半期 5,591百万円 29年3月期 5,669百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		2.00	2.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				20.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

*当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。

株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は2円となります。

詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成30年3月期の業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,500	2.8	170	344.2	160	559.8	150	2.9	49.85

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

*平成30年3月期の通期の業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮しております。

詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	3,027,626 株	29年3月期	3,027,626 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	19,098 株	29年3月期	18,744 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	3,008,749 株	29年3月期2Q	3,009,256 株

*平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式10株を1株とする株式併合を実施しております。前事業年度の期首に該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式併合後の配当及び業績予想について)

当社は、平成29年6月29日開催の第119回定時株主総会において、平成29年10月1日を効力発生日として、株式併合について承認可決され、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。なお、株式併合考慮前に換算した平成30年3月期の配当予想及び業績予想は以下のとおりとなります。

- 平成30年3月期の配当予想
1株当たり配当金 期末 2円
- 平成30年3月期の通期の業績予想
1株当たり当期純利益 4円99銭

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、政府による経済政策や日本銀行の金融緩和策を受けて、緩やかな景気回復基調が続きましたものの、米国の政策動向や中国の経済動向など、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような情勢のもとで、当社は、3カ年の新中期事業計画（平成28年3月期～平成30年3月期）に基づき、基盤事業の再構築、コア事業の収益拡大及び新規事業の強化を通じて、持続的な成長に向けた収益基盤の強化に取り組んでまいりました。

その結果、チタン酸リチウム及び酸化鉄の出荷数量が増加いたしましたので、当第2四半期累計期間の売上高は、前年同期を上回る3,090百万円（前年同期比7.0%増）となりました。

一方、損益面につきましては、売上高は増加いたしましたものの、海外への拡販に向けたFDA（米国食品医薬品局）審査及び欧州REACH（化学品の登録、評価、認可及び制限に関する規則）への対応費用の負担並びに原材料費の高騰などにより、営業損失は44百万円（前年同期は営業損失40百万円）、経常損失は62百万円（前年同期は経常損失53百万円）、四半期純損失は72百万円（前年同期は四半期純損失60百万円）となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

(酸化チタン)

酸化チタンにつきましては、コンデンサー向け製品の需要が回復したことにより、出荷数量が増加いたしました。コア事業の超微粒子酸化チタンにつきましては、UVカット化粧品向け新製品の採用などにより、出荷数量が増加いたしました。新規事業のチタン酸リチウムにつきましては、自動車搭載用電池向け製品等が好調に推移したことにより、出荷数量が増加いたしました。

以上の結果、当セグメントの売上高は2,089百万円（前年同期比2.7%増）となりましたものの、海外への拡販に伴う諸経費の増加及び原材料費の高騰などにより、営業損失は41百万円（前年同期は営業損失41百万円）となりました。

(酸化鉄)

酸化鉄につきましては、化粧品向け新製品並びにトナー向け及び塗料向け既存製品が好調に推移いたしましたので、出荷数量が増加いたしました。

以上の結果、当セグメントの売上高は975百万円（前年同期比17.7%増）となりましたものの、諸経費の増加などにより、営業損失は13百万円（前年同期は営業損失7百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

資産につきましては、受取手形及び売掛金、機械及び装置などの減少があったものの、現金及び預金、仕掛品、原材料及び貯蔵品などの増加から、当第2四半期会計期間末11,304百万円と前事業年度末に比べて166百万円増加いたしました。

負債につきましては、長期借入金、退職給付引当金などの減少があったものの、支払手形及び買掛金、1年内返済予定の長期借入金などの増加から、当第2四半期会計期間末5,713百万円と前事業年度末に比べて244百万円増加いたしました。

純資産につきましては、その他有価証券評価差額金の増加があったものの、四半期純損失の計上による利益剰余金などの減少から、当第2四半期会計期間末5,591百万円と前事業年度末に比べて78百万円減少いたしました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間におきましては、税引前四半期純損失、たな卸資産の増加、有形固定資産の取得、長期借入金の返済などの資金減がありましたものの、減価償却費、売上債権の減少、仕入債務の増加などの資金増によりまして、前事業年度末に比べて267百万円増加（前年同四半期累計期間は4百万円増加）しており、資金の残高は591百万円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、現時点では平成29年5月15日に公表いたしました業績予想と変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	325	592
受取手形及び売掛金	1,579	1,299
商品及び製品	1,327	1,328
仕掛品	567	692
原材料及び貯蔵品	366	473
その他	29	20
流動資産合計	4,197	4,408
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,585	1,559
機械及び装置(純額)	3,107	2,997
その他(純額)	663	683
有形固定資産合計	5,356	5,240
無形固定資産	4	4
投資その他の資産		
投資有価証券	1,131	1,208
その他	459	455
貸倒引当金	△11	△11
投資その他の資産合計	1,579	1,652
固定資産合計	6,941	6,896
資産合計	11,138	11,304
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	527	761
短期借入金	1,000	1,050
1年内返済予定の長期借入金	400	514
未払法人税等	16	15
賞与引当金	98	103
その他	547	669
流動負債合計	2,590	3,114
固定負債		
長期借入金	1,927	1,670
退職給付引当金	663	630
資産除去債務	3	3
その他	283	294
固定負債合計	2,878	2,598
負債合計	5,468	5,713

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,443	3,443
資本剰余金	292	292
利益剰余金	1,387	1,255
自己株式	△36	△37
株主資本合計	5,086	4,953
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	582	637
評価・換算差額等合計	582	637
純資産合計	5,669	5,591
負債純資産合計	11,138	11,304

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
売上高	2,887	3,090
売上原価	2,461	2,621
売上総利益	425	469
販売費及び一般管理費	466	514
営業損失(△)	△40	△44
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	9	10
その他	10	6
営業外収益合計	20	16
営業外費用		
支払利息	24	21
その他	8	12
営業外費用合計	32	34
経常損失(△)	△53	△62
特別損失		
固定資産除却損	5	7
特別損失合計	5	7
税引前四半期純損失(△)	△59	△70
法人税、住民税及び事業税	1	1
法人税等合計	1	1
四半期純損失(△)	△60	△72

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失(△)	△59	△70
減価償却費	337	326
賞与引当金の増減額(△は減少)	4	5
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△27	△32
受取利息及び受取配当金	△10	△10
支払利息	24	21
その他の営業外損益(△は益)	△2	5
有形固定資産除却損	5	7
売上債権の増減額(△は増加)	421	280
たな卸資産の増減額(△は増加)	△165	△233
仕入債務の増減額(△は減少)	△22	355
未払消費税等の増減額(△は減少)	△56	△41
その他	6	9
小計	456	625
利息及び配当金の受取額	10	10
利息の支払額	△23	△11
法人税等の支払額	△8	△1
その他	△5	△2
営業活動によるキャッシュ・フロー	428	619
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1	△1
定期預金の払戻による収入	1	1
有形固定資産の取得による支出	△20	△188
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
貸付金の回収による収入	3	0
その他の支出	△0	△0
その他の収入	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16	△188
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	50
短期借入金の返済による支出	△100	—
長期借入金の返済による支出	△234	△143
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△60	△60
その他の支出	△11	△11
財務活動によるキャッシュ・フロー	△407	△165
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	4	267
現金及び現金同等物の期首残高	371	324
現金及び現金同等物の四半期末残高	375	591

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期損益計算書 計上額(注2)
	酸化チタン	酸化鉄	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,033	828	2,862	24	2,887	—	2,887
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,033	828	2,862	24	2,887	—	2,887
セグメント利益又は損失(△) (営業損失(△))	△41	△7	△49	8	△40	—	△40

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、副産物等の販売を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

② 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期損益計算書 計上額(注2)
	酸化チタン	酸化鉄	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,089	975	3,065	25	3,090	—	3,090
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,089	975	3,065	25	3,090	—	3,090
セグメント利益又は損失(△) (営業損失(△))	△41	△13	△54	9	△44	—	△44

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、副産物等の販売を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

② 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

以上